

教育委員会事務事業  
点検・評価報告書

(平成28年度実績)

小鹿野町教育委員会

## 目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	1
2	平成28年度小鹿野町教育行政重点施策	1
3	点検・評価の項目	2
4	達成度と評価結果	2
5	点検・評価表	3

## 1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、平成 27 年度から 30 年度までを期間とする「小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、平成 28 年度重点施策に基づく事務事業を点検し、評価を行ったものです。

## 2 平成 28 年度小鹿野町教育行政重点施策

**基本理念** 未来を拓く夢と希望と勇気を育む小鹿野教育

**基本目標** ふるさとの明日を担う心豊かな人づくりの推進

### (1) 確かな学力の育成

学力の定着に向けた多様な学習機会の設定と学習指導の充実

### (2) 自立し周囲と協調できる社会性の育成

人とのつながりを大切にする教育の推進

### (3) グローバルな視点を持ち夢の実現に向かう活力の育成

未来を拓く親子共学の推進

### (4) 豊かな人間性と健やかな体の育成

自他の命と心を大切にする教育の推進

### (5) 伝統文化の継承と生涯にわたる学びの支援

生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

### 3 点検・評価の項目

No	項 目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	学校教育課
3	小中一貫教育の推進	学校教育課
4	学力向上に向けた授業改善	学校教育課
5	教職員の資質向上	学校教育課
6	学習機会の拡充と直接的な支援	学校教育課
7	児童・生徒の社会体験やボランティア活動の充実	学校教育課
8	おがの家庭教育宣言の推進	学校教育課
9	学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	学校教育課
10	命を大切にする教育の推進	学校教育課
11	家庭教育支援の推進	社会教育課
12	ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援	公民館
13	生涯学習推進体制の整備と促進	公民館
14	文化芸術の振興	公民館
15	出会いの場の創出による少子化対策の推進	公民館
16	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	社会教育課
17	伝統文化の育成と文化財の保存と活用の推進	社会教育課
18	乳幼児への読書活動の推進	図書館
19	図書館と学校図書館との連携の強化	図書館
20	図書館利用の促進	図書館

### 4 達成度と評価結果

達 成 度	評 価
100%	A 【目標どおり】
80%以上	B 【概ね目標どおり】
60%以上	C 【目標をやや下回る】
40%以上	D 【目標を大きく下回る】
30%未満	E 【実施できなかった】

※達成度：会議の開催回数、事業参加者数及び施設利用者などから目標達成率（ ）内数値を算出し、項目ごとの平均値（下線付数値）を記載

※評価：5段階評価とし、成果と課題を記載

5 点検・評価表

1 教育委員会会議の実施状況				<学校教育課>
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①定例会 <u>月1回開催</u>	①定例会 <u>12回</u>	<u>100</u> (100)	<b>A</b>	○教育施策や教育支援のための協議を行うなど、即時対応する委員会運営に努めた。
②臨時会 <u>随時</u>	②臨時会 <u>0回</u> (臨時会開催案件無)			
2 教育委員の活動状況				
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①総合教育会議参加 <u>2回</u>	①総合教育会議 (H28 年度重点施策・未来塾等) <u>2回</u>	<u>97</u> (100)	<b>B</b>	○首長部局との連携を密にすることを図った。 ○各種研修会へ計画的に参加するとともに、町の教育課題に対応した視察先へ研修訪問した。 ○町内に整備された教育関連施設を視察し、今後の運営方法などについて検討を行った。 ○今後の町の教育行政に活かすために、他市町村への積極的な視察研修を行った。
②各種研修会・視察参加	②埼玉県教育委員連合会研修会 (教育全般) 1回 ・秩父地区教育委員連合会研修会 (教育全般) 1回 ・埼玉県教育委員研究協議会 (教育全般) 1回 ・鶴ヶ島市給食センター視察 (調理場運営・衛生管理) 1回 ・埼玉県総合教育センター視察研修 (ICT研修) 1回 <b>★延べ5回</b>			
③入学・入園式参加 <u>6回</u>	③入学・入園式参加 <u>6回</u>	(83)		
④卒業・卒園式参加 <u>6回</u>	④卒業・卒園式参加 <u>6回</u>	(100)		
⑤学校訪問 <u>6回</u>	⑤学校訪問 <u>6回</u>	(100)		
⑥町内教育施設視察 <u>1日</u>	⑥町内教育施設視察 (給食センター・町民武道場) <u>1日</u>	(100)		

3 小中一貫教育の推進					＜学校教育課＞
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①小中一貫教育の視点に立つ教育の推進 <u>会議開催 5回</u> ・小中一貫教育合同研修会 <u>全職員研修会参加</u> ・小中一貫生活目標設定 <u>全校で目標設定</u> ・小中一貫生活目標取組み <u>全5校で取組</u>	①小中一貫推進会議開催 <u>会議開催4回</u> ・小中一貫教育合同研修会 <u>全校職員参加</u> ・小中一貫生活目標設定 <u>全校で設定</u> ・小中一貫生活目標の具体的取組み <u>1校</u>	<u>75</u>  (80)  (100)  (100)  (20)	<b>C</b>	○学校教育研究推進委員会での協議を踏まえ、推進会議の中で小中一貫生活目標を設定し、全校へ周知を図ることができた。 ○生徒への働きかけを行った学校は1校のみで、今後さらに周知徹底する必要がある。	
4 学力向上に向けた授業改善					＜学校教育課＞
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①全国及び県学力・学習状況調査における正答率の向上 <u>県平均を上回る</u>	①正答率が県平均を上回った項目 <u>0項目</u>	<u>52</u>  (0)	<b>D</b>	○学力調査において県内でも有数な伸び率を記録し、県平均との差が縮まりつつあるが、県平均を上回れなかった。	
②県学力・学習状況調査の結果向上 <u>全ての教科で伸長</u>	②伸びの認められた教科数 <u>6/11</u>	(55)		○授業改善のための具体的な方針を示し、町独自の学力テストを継続して行っていくことで学力の向上につなげる。	
③授業改善・学力パワーアップテストの実施 <u>全校で実施</u>	③授業改善のための「小鹿野ベース」設定及び学力パワーアップテスト2回実施 <u>全校で実施</u>	(100)			
5 教職員の資質向上					＜学校教育課＞
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①若手教員研修会開催 <u>5回</u>	①採用後3年以内の教職員対象町独自研修会開催 <u>5回</u>	<u>78</u>  (100)	<b>C</b>	○教職員としての資質はもとより、児童・生徒に対する態度なども指導できた。	
②外国語教育研修会開催 <u>3回</u>	②教職員外国語教育研修会 <u>1回</u>	(33)		○現代的な課題である外国語やICT活用のための研修をさらに充実させていく。	
③ICT活用研修会開催 <u>2回</u>	③教職員ICT活用研修会 <u>2回</u>	(100)			

6 学習機会の拡充と直接的な支援					<学校教育課>				
目 標		実 績 等		達成度%	評価	成 果 と 課 題			
①小鹿野未来塾の開催 全 <u>40</u> 回		①小鹿野未来塾開催 全 <u>39</u> 回 英検チャレンジ 6回 漢検チャレンジ 6回 中学生未来塾 21回 科学不思議講座 6回		<u>86</u> (98)	<b>B</b>	○教員OBや民間塾講師並びに小鹿野高校との連携のもと「小鹿野未来塾」を開催することができた。今後は、より多くの人に参加してもらえるよう努める。 ○地域との連携のもと学力向上に取り組めた。 ○学習指導員の人材確保に引き続き努める。			
②学習指導員配置 全 <u>10</u> 名		②学習指導員配置 全 <u>6</u> 名		(60)					
③学習支援推進員の配置 全 <u>1</u> 名		③学習支援推進員配置 全 <u>1</u> 名		(100)					
7 児童・生徒の社会体験やボランティア活動の充実					<学校教育課>				
目 標		実 績 等		達成度%	評価	成 果 と 課 題			
①子供たちの社会体験やボランティア活動への参加を促す 参加率 <u>50%</u>		①ボランティア活動の参加率 小学生 <u>29%</u> 中学生 <u>42%</u> ※中学2年生社会体験チャレンジ事業は毎年学校行事として実施している		<u>71</u> (58) (84)	<b>C</b>	○中学生のボランティア活動に対する意識付けはかなりできてきたので、小学生まで波及するよう努める。			
8 おがの家庭教育宣言の推進					<学校教育課>				
目 標		実 績 等		達成度%	評価	成 果 と 課 題			
①家庭教育宣言に対する取組み 広報誌全校掲載 ・PTAによるアンケート調査実施 全校実施		①家庭教育宣言の每户配布とPTA広報誌への掲載 広報誌掲載 2校 ・PTAによるアンケート調査実施 全校実施		<u>84</u> (40) (100)	<b>B</b>	○家庭教育宣言制定後2年が経過し、徐々に浸透しつつある。 ○アンケートの作成・集計をPTA事業に位置付け、より主体的な活動となるよう普及活動を行う。 ○家庭との連携を密にし、家庭学習の習慣化を図る。			
②家庭における学習時間の習慣化 平日1時間以上の児童生徒の割合 <u>90%</u>		②自宅学習の平日1時間以上の児童生徒の割合 小学校高学年 <u>89%</u> 中学生 <u>86%</u>		(99) (96)					

9 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進				＜学校教育課＞	
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①学校応援団に対する地域の協力者を増やす <u>延べ2,500人</u>	①学校応援団に対する地域協力者の参加者 <u>延べ2,135人</u>	<u>72</u> (85)	<b>C</b>	○学習支援・環境整備・安全活動など多方面にわたり多くの協力を得られた。 ○英検取得率向上のため、学校及び家庭との連携を強化し、受験者数を増加することから取り組む。	
②英検漢検講座へ親子一緒の参加者を増やす <u>20家庭</u>	②親子及び家族参加者 <u>16家庭</u>	(80)			
③英検取得率の向上 <u>中学卒業時3級4割</u>	③英検取得率 <u>2割</u>	(50)			
10 命を大切に教育の推進				＜学校教育課＞	
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①教職員対象人権教育研修会開催 <u>2回</u>	①教職員対象人権教育研修会開催 <u>1回</u>	<u>85</u> (50)	<b>B</b>	○実績ある講師を招き、全教職員対象に人権教育研修会が開催できた。 ○ドライ方式による調理場運営に転換し、アレルギー対応もきめ細かにできるようになった。 ○体力の向上が学力の向上にもつながると考え、引き続きスポーツ少年団とも連携し、体力向上に努める。	
②給食センターの新築 <u>10月稼働</u>	②4調理場を廃止し新センター移行 <u>10月稼働</u>	(100)			
③児童生徒の体力向上 県体力テスト項目における平均値の向上 <u>実施項目で男女とも平均値をクリアする</u>	③県体力テストにおける平均値クリア割合 <u>小学生男子 94%</u> <u>小学生女子 98%</u> <u>中学生男子 67%</u> <u>中学生女子 100%</u>	(94) (98) (67) (100)			
11 家庭教育支援の推進				＜社会教育課＞	
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題	
①訪問講座（人権を考える集い）の開催 <u>児童 72人（在籍数）</u> <u>保護者 55人</u>	①三田川小学校で訪問講座開催 <u>児童 72人</u> <u>保護者 43人</u>	<u>79</u> (100) (78)	<b>C</b>	○児童・保護者を対象に人権問題についての意識の高揚を図れた。 ○家庭教育支援事業計3回の平均参加率は72%であったが、参加者アンケートによる満足度は91%と高かったため、今後はより多くの人に参加	
②家庭を支援する事業の開催 ・親子ふれあい体操 <u>100組200人</u>	②家庭教育支援事業開催 親子ふれあい体操 <u>71組142人</u>	(71)			





③ふるさとまつり文化展 開催 <u>参加 10 団体</u>	③ふるさとまつり文化展開催 <u>参加 10 団体</u>	(100)		通して出会いの場の創出にもつながり、結婚事業に結びつけることができた。
④結婚力アップスクール 講座開催 <u>全 5 回、参加延べ数 100 人</u>	④結婚力アップスクール講座開催 <u>全 5 回、参加数延べ 76 人</u>	(76)		
14 文化芸術の振興				<公民館>
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①西秩父美術展開催 <u>総出展数 550 点</u>	①西秩父美術展開催 <u>総出展数 503 点</u>	<u>85</u> (91)	<b>B</b>	○児童・生徒に多くの作品を出展していただくため学校行事等を考慮した開催時期を検討する。 ○文化講演会は入場無料であるため、当日の来場者予測は大変困難であるが、より多くの方が参加できるよう努める。
②文化講演会開催 <u>1 回 入場者 695 人</u>	②文化講演会開催 <u>1 回 入場者 541 人</u>	(78)		
15 出会いの場の創出による少子化対策の推進				<公民館>
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①結婚相談員活動の強化 <u>結婚相談室開設 11 回</u>	①結婚相談室開設 <u>11 回</u>	<u>84</u> (100)	<b>B</b>	○町の結婚相談員数は 10 名で他と比較し多くの方に協力をいただいているため、婚活イベント等の参加者が多くなっている。 ○人口減少・少子化対策における重要な活動であり、結婚後の定住も含め関係機関と連携を図りながら継続していく必要がある。
②婚活イベントの開催 <u>全 5 回、延べ 130 人</u>	②婚活イベントを開催 <u>全 5 回、延べ 133 人</u>	(102)		
③婚姻者の増加 <u>結婚相談登録者の婚姻数 4 人</u>	③婚姻数 <u>2 人</u>	(50)		
16 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進				<社会教育課>
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①スポーツ教室の開催	①子供ソフトテニス・硬式テニス・弓道・剣道・バド	<u>92</u> (100)	<b>B</b>	○子供を対象にスポーツ教室を開催することにより、スポーツの裾野を広

<p style="text-align: center;"><u>6教室</u></p> <p>②スポーツ大会の開催 17種目 22大会 <u>参加 12,000人</u> 110チーム</p> <p>③体育設備の整備 <u>町民武道場の共用開始</u></p>	<p>ミントン・卓球教室開催 <u>6教室 33回</u></p> <p>②スポーツ大会開催 (76) 16種目 21大会 <u>参加 9,047人</u> 83チーム</p> <p>③町民武道場完成 (100) <u>平成28年9月18日共用開始</u></p>		<p>げることができた。</p> <p>○チャレンジデーは町内企業等の協力により多くの参加者が確保できた。</p> <p>○スポーツ大会開催にあたっては、他の事業との調整を図りながら、多くの方が参加できる日程設定を検討していく。</p> <p>○町民武道場は、共用開始以来ほぼ毎日使用されている。今後は、利用率向上のため合宿等の誘致を図る。</p>	
17 伝統文化の育成と文化財の保存と活用の推進		＜社会教育課＞		
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
<p>①歌舞伎郷土芸能祭開催 <u>来場者 1,400人</u></p> <p>②文化財活用事業の展開  <u>延べ来場者 2,800人</u></p> <p>③中学総合学習での歌舞伎の導入 <u>発表会を実施</u></p>	<p>①11月19・20に開催 <u>来場者 1,000人</u></p> <p>②宮沢賢治関連事業開催 全4回 1,500人 ・指定文化財展開催 来場者 700人 ・児童・生徒文化財見学会開催 参加者 100人 <u>★延べ来場者 2,300人</u></p> <p>③中学総合学習で歌舞伎導入 <u>郷土芸能祭で上演</u></p>	<p style="text-align: center;"><u>84</u></p> <p>(71)</p> <p style="text-align: center;"><u>(82)</u></p> <p>(100)</p>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p>	<p>○郷土芸能祭は、中学校統合後初めての中学生による歌舞伎上演などがあり、多くの賑わいを見せたが、更なる集客に努める。</p> <p>○各種事業を行うことにより広く文化財を活用することができた。今後は、特色ある展示会を開催することで更なる集客に努める。</p>
18 乳幼児への読書活動の推進		＜図書館＞		
目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
<p>①ブックスタート事業実施 <u>参加率対象児童の100%</u></p> <p>②ブックチャレンジ事業実施 <u>対象児の70%</u></p>	<p>①ブックスタート事業 <u>対象児参加率 100%</u></p> <p>②ブックチャレンジ事業 <u>参加率 77%</u></p>	<p style="text-align: center;"><u>89</u></p> <p>(100)</p> <p>(110)</p>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p>	<p>○ブックスタート・ブックチャレンジ事業は、乳幼児健診に合わせて開催し、対象者が参加しやすいよう工夫した。今後は、欠席者</p>

③読み聞かせ講座の開催 <u>全3回</u>	③読み聞かせ講座開催 <u>全2回</u>	(67)		の対応方法を検討していく。 ○おはなしの会への参加者が年々減少しているので、開催日を変更するなど検討していく。
④おはなしの会プチ開催 全11回、 <u>延べ30名</u>	④おはなしの会プチ開催 全6回、 <u>延べ24名</u>	(80)		

19 図書館と学校図書館との連携の強化

<図書館>

目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①図書館システムの一元化を図る <u>平成28年度中</u>	①図書館システムの一元化 <u>平成29年3月完成</u>	<u>89</u> (100)	<b>B</b>	○町立図書館と学校図書館のシステムを統一することにより、資料の管理や検索等の機能強化が図れた。 ○子供たちが調べる学習への興味を持ってもらえるよう努める。
②調べる学習地域コンクール開催 <u>応募作品 40点</u>	②調べる学習地域コンクール開催 <u>応募作品 31点</u>	(78)		

20 図書館利用の促進

<図書館>

目 標	実 績 等	達成度%	評価	成 果 と 課 題
①図書館だよりの発行 <u>毎月発行</u>	①図書館だより発行 <u>毎月、全世帯配布</u> ※1月以降はカラー版を公共施設で配布	<u>98</u> (100)	<b>B</b>	○図書館だよりのさらなる充実と見やすさを工夫する。 ○見学会・体験事業を充実させていくことで、図書館利用者の増加につなげる。 ○見学会・体験事業を充実させていくことで、図書館利用者の増加につなげる。○1人当たり1回貸出可能冊数を10冊に増やしたことにより、より多くの図書を借りていただくことにつながった。
②図書館見学会及び図書館体験事業の開催 <u>インターンシップ受入</u>	②図書館見学会及び図書館体験事業の開催 <u>インターンシップ受入</u> 小鹿野高校 3名	(100)		
<u>見学会受入</u>	<u>見学会受入</u>	(80)		
体験講座参加者 <u>10名</u>	体験講座開催 <u>参加者 8名</u>	(98)		
③図書貸出者数の増加 <u>年間貸出者数 9,000人</u>	③図書貸出者数 <u>年間貸出者数 8,850人</u>	(98)		
④年間図書貸出冊数増加 <u>1人当たり 2.8冊</u>	④年間図書貸出冊数 <u>1人当たり 3.1冊</u>	(111)		

